

## 2019年度の活動報告

○FM ゆきぐに 栄養情報発信（通年） \* 毎週月曜日 9:27~5分間程度

番組名：「楽しく食育 栄養士さんからのアドバイス」

地元 FM ラジオ局「FM ゆきぐに 76.2MHz」を通じて、旬の食材や地元の特産品や郷土料理等のレシピ、年代に合わせた食のアドバイス等、季節に合わせた「食と栄養の情報」や栄養士の活動も発信しています。

全職域の栄養士会員が原稿作成や収録を担当しており、収録ブースではちょっとした“アナウンサー気分”も味わいながら楽しんで取り組んでいます。

★令和2年1月より、ラジオ放送毎月2回に変更となりますが、機関紙「雪国新聞」のレシピの連載があらたに始まりました。地域での栄養士活動がしっかり根ざしてきた印象です。

○第1回支部会および交流会「わいわいカフェ」

開催日：令和1年12月7日（土）13:00~16:00

会場：北里大学保健衛生専門学院

- ・事業報告及び事業計画 および 職域連絡会
- ・「わいわいカフェ」於：北里ガーデン

会員の他、在勤・在住の栄養士・管理栄養士の交流会を開催しました。

お茶とケーキを楽しみながら、仕事の悩みや地域の情報など会話に花が咲きました。

異なる職域でも地域で働く仲間同士、顔の見える関係づくりを目指しています。

○在宅栄養研修会「嚥下食形態一覧表作成の意義と地域での活用に向けて」

共催：魚沼地域摂食嚥下診療研究会栄養分科会

開催日：令和1年10月18日（金）18:00~20:00

会場：魚沼基幹病院 多目的ホール

【講演】\* 講師敬称略

- ・意義と活用 魚沼地域の全体像  
魚沼基幹病院 耳鼻咽喉科部長 相澤直孝
- ・当院における嚥下食形態一覧表活用の実際  
湯沢町保健医療センター栄養室長 柳真紀
- ・地域における栄養連携・栄養士に期待すること



在介支援センター小出センター長 齋藤久良

- ・地域における栄養連携・栄養士に期待すること

十日町市中央歯科医院 院長 中林 弘

グループワーク

- ・嚥下食形態一覧表の有意義な活用について
- ・具体的な運用にむけて

参加者：77名

(管理栄養士49名・栄養士3名・調理師2名・医師1名・歯科医師2名・歯科衛生士2名・施設長1名・ケアマネ6名・看護師2名・OT2名・介護士1名・栄養実習生6名)

地域の栄養連携についての関心が高いことがみえます。切れ目のない栄養支援の共通ツールとして施設間の連携の他、在宅支援への連携も視野に入れて一覧表の改定、運用の検討を進めていく予定です。

○ヘルパーさん向け「フレイル予防調理講習会」 \*魚沼市からの委託事業です

開催日：令和1年12月13日(金) 18:00~19:00

会場：魚沼市小出ボランティアセンター

対象：市内ヘルパー事業所の訪問介護員

参加者：13名

テーマ：「お鍋ひとつで簡単クッキング」

在宅療養者を一番近くで支えるヘルパーさんより貴重な意見を聞ける大切な機会です。

管理栄養士・栄養士がどのように連携をしていけるか支部としてしっかり取り組んでいきます。

